

# 胃内視鏡検査の説明・同意書

## 1. 胃内視鏡検査とは

胃内視鏡(胃カメラ)を経口的あるいは経鼻的に挿入して、食道・胃・十二指腸を観察するものです。

## 2. 合併症

まれに、次のような合併症が起きることがあります。

- 1) 前処置の注射による動悸、血圧低下、口の渇き、目のかすみ、排尿困難。
- 2) 安定剤の注射による血管痛や、検査後の眠気、ふらつき。
- 3) 喉や鼻の麻酔薬あるいは色素液による、アレルギー反応。
- 4) 迷走神経反射による血圧低下。
- 5) 食道・胃十二指腸の穿孔や出血(特に抗凝固薬や抗血小板薬を服用している方)。
- 6) 経鼻内視鏡施行時の鼻出血

3. 検査時に実施する追加の医療行為について、胃内視鏡検診の方は保険診療となりますので自己負担金が生じます。

### 1) 生検

内視鏡検査で病変が発見された場合、より正確な診断をつけるために生検(粘膜病理検査)

が必要になることがあります。

### 2) その他の検査・治療

疾患が見つかった場合の検査(ヘリコバクター・ピロリ菌検査等)及び治療(投薬)

以上のことにつき説明書を読み、理解しました。

胃内視鏡検査を希望します。

年 月 日

氏名

代筆者(続柄)

浜松市西区入野町9863-6  
鈴木内科消化器科医院  
院長 鈴木 秀治